

図書館報

2016 WINTER vol.36

SEASON



写真：秋の読書講演会の様子（加賀譲治副学長「朝3分間の読書のすすめ」）

ISSN 1349-3760



図書館コラム 木下 薫 文学部教授



読書展レポート



Soka Book Wave イベントレポート



図書館分館では、
さまざまな企画展示を行なっています！



図書館掲示板



木下 薫 文学部教授

図書館報コラム

オックスフォード大学・ ボドリアン図書館の思い出

今年度文学部委員として、図書館運営委員会の一員に加えて頂いた縁で、今回寄稿のご依頼を頂いた。原稿締切日は、十二月九日。奇しくも文豪、夏目漱石（1867-1916）の没後百周年目に当たる命日であった。私事で恐縮であるが、四日に母が他界し葬儀の為、長野にいて締め切り間に合わず、寛大なお計らいで拙稿の提出を数日延ばして頂いた。早くに準備すべきであった。まずは編集部の皆様に深くお詫び申し上げます。

昨年『セルデンの中国地図・消えた古地図 400年の謎を解く』（原題等略、ティモシー・ブルック著、藤井美佐子訳、太田出版、2015年）という本が話題になったのをご記憶だろうか。幅約一メートル、長さ一、六メートル程の古地図の来歴をめぐって、東アジアの歴史を紐解いていく知的刺激に充ちた一冊である。実はこの地図（いや海図というべきか）、オックスフォード大学の

ボドリアン図書館（Bodleian Libraries UNIVERSITY OF OXFORD）と深い関係にある。約四百年の時を経てボドリアン図書館で発見された件の地図、もともとは十七世紀前半の英国を代表する法律家、東洋史家の一人、ジョン・セルデン（Selden, John 1584-1654）の収集品で、彼による多くの寄贈品の一つであった。ハンフリー公図書館の後の拡張部分は今もセルデン・エンド（Selden End）と呼ばれている。

ボドリアン図書館といえば、本学の創立者、池田大作先生がご訪問になられた図書館としてご存知の方も多いのではないだろうか。大学図書館の再建に尽くした外交官トマス・ボドレー卿（Bodley, Sir Thomas 1545-1613）の名からそう呼ばれている。公式ホームページにあるように、1200万冊を越す印刷物、8万冊以上の電子ジャーナル誌、稀書、写本、パピルス写本、ピラ、地図等を含む一大コレクション

を有しており、ヨーロッパ屈指の図書館である。現在は分からないが、1990年当時は図書館利用者の資格を得るために、ガウン着用の上、中世を思わせる宣誓文の詠唱を求められた。またオックスフォード大学自体が独自の伝統を持つ複数のカレッジの集合体であるように、各カレッジが固有のライブラリーを有し、門外不出の貴重な文書を誇っている。実はこれが図書館の層の厚みを支えている秘密かもしれない。例えば筆者が滞在したキャンピオン・ホール（Campion Hall）ならば、スプラング・リズムで有名な詩人ホプキンス（Hopkins, Gerard Manley 1844-1889）の未公開書簡を含む私的文書の一大コレクションがあるといった具合である。特に創立の古いカレッジ程その傾向が強く、例えばオール・ソウルズ・カレッジ（All Souls College）の特別研究員であられた当運営委員会の文学部委員、中野毅教授に伺えば、当該カレッジに

まつわる貴重な挿話、裏話などご教示頂けるかもしれない。

筆者も1990年から91年にかけて、創価大学からの在外研究員として、オックスフォード大学、キャンピオン・ホールの客員研究員となる機会を頂いた。大学に形而上詩人ジョン・ダン（Donne, John 1572-1631）研究の第一人者ジョン・ケアリー（Carey, John）教授がおられたのが第一の理由であるが、ダン自身がオックスフォードのハート・ホール（Hart Hall-Oxford）の学生だったからでもある。ダンの母方の家系はかのトマス・モア（More, Sir Thomas 1478-1535）に連なる英国カトリックの名門であり、英国国教会の大権を認めなかったため、学位は得られず、在学当時の記録もほとんど残っていない。当時のダンのような宗教的マイノリティにとって、学位取得は信念と拮抗する一大事となる時代であった

のだ。しかし出版を意図せず、ごく近しい友人間で秘かに回覧されていた貴重な詩の写本が数多く残っており、ダンの研究を志す者にとっては、文字通り宝の山であった。当時英文学研究においては、新歴史主義批評や新マルクス主義批評が盛んでありオックスフォードも例外ではなかったし、テリー・イーグルトン（Eagleton, Terry）の講義は受講生で溢れていた。

ボドリアン図書館といえば、法定納本図書館としての圧倒的な情報量ばかりが強調されがちだが、その優美な外観にも触れないわけにはいかない。スクールズ・クアドラングル（Schools Quadrangle）と呼ばれる矩形の中庭空間と古代建築の五つの柱で装飾された塔が美しく調和している空間は、それ自体が芸術作品のように思われる。余談だが、当時スコットランド旅行に来ていた母がオックスフォードに立ち寄った折、

おもわず「こんな所で勉強できるなんて幸せなことね」とつぶやいていたのを思い出す。

勿論、最近はデジタル化が急速に進んでいる。例えば、2015年11月12日付けの国立国会図書館のサイト「カレントアウェアネス・ポータル」は、ボドリアン図書館が2015年7月8日に一千二百万点に及ぶ、新しいオンラインポータル「Digital Bodleian」を公開したことで、更には記念すべき一千二百万点目の書籍は、英国ロマン派を代表する詩人シェリー（Percy Bysshe Shelley, 1792-1822）による1811年刊行のパンフレット『Poetical Essay on the Existing State of Things』であることを発表した。かつて無神論を公にした為にオックスフォードを放校処分にあったシェリーが聞いたら、驚いたかもしれない。時代と共に作家の評価は移り変わるということなのだろうか。

～図書館から News ～

“国立国会図書館のデジタル化資料送信サービス”が2017年4月にスタートします。中央図書館で約142万件の国会図書館の資料にアクセスできるようになります！

（きのした かおる）



魅力をプレゼンし、参加者の投票で、どの本が一番読んでみたくなったかを決める来場者参加型イベントです。今回は作者の出身国が異なる絵本でビブリオバトルを開催。1日目は『ハグくまさん』、2日目は『チビねずくんのながーいよる』のプレゼンが優勝しました。

ほかにも小さな子供も楽しめる絵本コーナーや、来場された方に、お気に入りの本のタイトルを書いていただき、それを本の背表紙に見立てて本棚を埋めていく、来場者参加型の展示を作成。中央図書館のいたるところに隠されている、SBWのイメージキャラクター「ブックン」を見つけ出すと、記念のしおりとブックカバーがもらえる企画もあり、来場された方にも積極的に参加して喜んでもらえる読書展となっております。

10月9日、10日の創大祭期間中に、Soka Reading Project (SRP) が中央図書館で『読書展』を開催しました。

今回SRPは、世界のベストセラー本に注目し、作者の出身地と物語の舞台を世界地図におこした『世界文学地図』を作成して展示。取り上げたベストセラー本は『ハリー・ポッター』や『ライ麦畑でつかまえて』『竜馬がゆく』などの81冊に及びました。また、この81冊をもとに、「経済的に発展している国がベストセラー本を多く生み出しているのではないか」との仮定を立て、調査項目を「経済」・「識字率」・「言語影響力」の3点に絞って考察を行い、研究発表の展示をしました。

ブラウジング・ルームでは、恒例のSRP主催イベント「ビブリオバトル」を開催。「ビブリオバトル」とは、登壇者がオススメの本を持ちより、その

Soka Rerading Project 主催

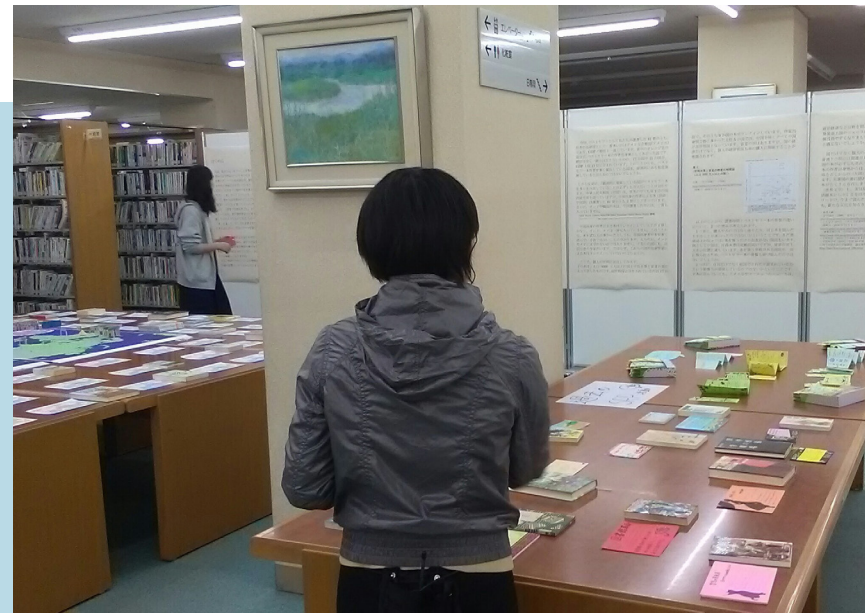
読書展 レポート

10/9

10/10



左：来場者参加型企画『本棚づくり』のコーナー



右：2階閲覧室において展示された『世界文学地図』のコーナー



左：ビブリオバトルのプレゼンに耳を傾ける参加者たち



右：ビブリオバトルに参加したSRPメンバーの4人



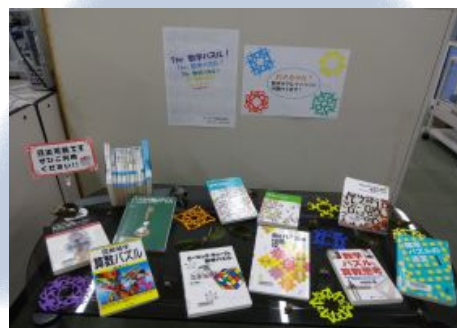
図書館分館では、 さまざまな企画展示を行なっています！

フレイザー 図書館

『The 数学パズル!』(8月展示)
数学好きにはたまらない(?)パズルの特集です。



『香り薫る秋』(9月展示)
香りには、昔の記憶を思い起こさせたり、
ココロを揺り動かす力がありますね。
香りの科学も学んで
素敵な体験もしてみませんか？



『折り紙も数学だ!』(11月展示)
折り紙は、実は数学なのです。
たかが折り紙と言っても、奥が深い
のです。
数学と関連の深い折り紙の魅力も詰め
込んだ展示。

中央図書館では毎月、さまざまなテーマに沿った展示を企画し、所蔵資料の紹介を行なっていますが、
フレイザー図書館、白樺図書館でも独自の企画展示を行なってるのをご存知でしたか？
各館の特色を活かした個性あふれる展示になっているので、ぜひフレイザー・白樺図書館の展示をご覧ください。



白樺図書館

『実習、はじめの一步』
(7月展示)

1年生の臨地実習に向けて展示も行っています。ドキドキがいっぱい。
大丈夫、誰でもみんな最初がビギナー。
はじめの一步も踏み出そう♪



『ご入学おめでとうございます!』
(4月展示)
学習、実習、進路、ナイチンゲール、リラックス。
新入生のみなさんをサポートし、励ましに
なるような図書も、
5つのカテゴリーごとに展示しました。

Soka Book Wave イベントレポート

学生選書ツアーを行ないました

9月10日(土)、(株)紀伊國屋書店様のご協力をいただき、
同新宿本店にて「2016年度 学生選書ツアー」を開催しました。
学生選書ツアーは、学生が実際に書店へ足を運び、図書館に置きたい本を直接選ぶ企画です。
前田清隆図書館長、図書館スタッフ3名と共に、応募した15名の学生が参加しました。



上段左: 選書ツアーに参加したメンバー
上段右: 「ポップの作り方」「選書のコツ」「書店員のお仕事」について、本学卒業生の店員の方から話を伺う

下段左・中: ポップの作成風景
下段右: 中央図書館での選書ツアー本展示風景



秋の講演会「朝3分間の読書のすすめ」 を中央図書館で開催しました

11月16日、中央図書館1階ラーニング・コモンズにおいて、
法学部の加賀譲治副学長をお招きして読書講演会を開催しました。
講演のテーマを「朝3分間の読書のすすめ」と題し、副学長自身がトルストイやユゴーなどの良書を読む中で
培ってきたこと、また忙しい中でも読書ができるコツなど、読書について幅広くお話ししてくださいました。



加賀譲治副学長



講演会の様子

通常開館時間

8 : 30 ~ 21 : 00

開館日程

休館

9 : 00 ~ 21 : 00

10 : 00 ~ 17 : 00

早朝開館期間 7 : 30 ~ 21 : 00

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

○ 冬季長期貸出一斉返却日

□ 学期末長期貸出開始日

冬季・学年末休業期間の長期貸出のお知らせ

冬休み期間中にかかる下記の期間は長期貸出となります。

学部生・短大生など（2週間貸出対象者）

12月7日（水）から12月23日（木）まで

教職員・大学院生・通教生・学外利用者など（4週間貸出対象）

12月7日（水）から12月15日（金）まで

この期間中に貸出した資料の返却日は1月13日（金）です。

学年末（春休み）期間中にかかる下記の期間は長期貸出となります。

学部生・短大生など（2週間貸出対象者）

2017年1月16日（月）から3月24日（金）まで

教職員・大学院生・通教生・学外利用者など（4週間貸出対象）

2017年1月16日（月）から3月14日（火）まで

この期間中に貸出した資料の返却日は4月11日（火）です。

※ CD・雑誌は期間中であっても通常通り1週間貸出です。

早朝開館試験運用のおしらせ

2017年1月11日より、中央図書館の早朝開館試験運用が始まりました。施行期間は2017年1月11日（水）から1月25日（水）の平日で、7:30からの開館になります。開館から8:30までの館内のご利用は、閲覧室での勉強、パソコンの利用、開架資料の閲覧のみです。